

大連の京劇大舞台が本格稼働

岡山県大連ビジネスサポートデスク 岡野涼子

中国の伝統芸能としては京劇や雑技がよく知られています。京劇は日本と同じく、映画や DVD など現代の娯楽におされ気味ですが一定数の熱烈なファンが存在します。派手な立ち回りや衣装を使用し、日本人にとっては馴染みのある三国演義（日本で言う三国志）や西遊記、水滸伝に関連します演目も多く、観光資源の一つとなっています。



この京劇、「京」の名が示す通り本山は北京ですが、地方にも幾つか劇団があり、それぞれ国家級、省級というようにランク付けられています。ここ大連でも 1949 年建国の年に設立された省レベルの京劇団があり、団長は全国レベルの国家一级役者として知られる楊赤院長、周りを固めるのも同じく一級俳優の張冬梅、李萍、孫恵珠等であり、孫恵珠は全国でも数少ない女老生（女性でかつ歌声中心の男性役）です。劇団員は約 50 名、地方劇団としては他の劇団と比較してレベルも高く、楊院長の「大連で京劇を発展させたい」という経営方針のもと、利益度外視で政府の支援を受けつつ、毎週土曜日の午後大連外大近くの旧東本願寺後の寺院を改造した風情ある小劇場「麒麟舞台」で若手役者中心の演出を行っています。チケットも高価なもので 80~120 元程度であり、通常の席でも 50 元程度、初めて観劇する際にはその安さに驚く外国人も多い状況です。海外では北歐三国、ポルトガル、イギリス、フランス、ドイツ、ベルギー、日本、韓国等で演出を行っています。

2010 年 10 月末、この舞台とは別に京劇用大型舞台として大連日航ホテル付近にある 1934 年設立の「宏済大舞台」が改装され、こけらおとしの大型演出が政府関係者を招き華々しく行われました。その後も散発的ながら映画にもなった「白蛇伝」や「霸王別姫」など大型演目が披露されています。この大型舞台の観客動員数は常に 8 割以上であり、チケットも当日でもチケットが入手可能な定期公演と違い電話予約や「票友」と呼ばれる京劇愛好者で組織する同好会を通じて入手するのがほとんどです。

運営資金の確保は恒常的な課題であり、現状では一部の花形役者に対する政府の支援と現地の京劇愛好者の企業家の支援で運営されています。通常、グッズや交流会の実施などで公演以外の収入源が想定されるがノウハウも無いことから、手が回らないのが実情です。最近になって、衣装を貸し出し、プロのメイクで以て撮影を行うサービスを開始したところ、「おしゃれ好き」「新しいもの好き」の大連ではことのほか好評で、外国人客からも多

数依頼がありますが、アルバムなど受け渡しまでやや時間がかかることはおおらかな東北らしいといえるでしょう。

【参考】

外国人向け演目：「三岔口」「拾玉鐲」「櫃中縁」「盗銀庫」「泗州城」「鬧天宮」「虹橋贈珠」「天女散花」等

生：善玉の男性の役

旦：善玉の女性の役

浄（花臉）：個性が強い男性の役。一般的に「花臉」と呼ばれ、隈取りのある役柄。

丑：三枚目、こっけい敵・悪い男性の役